

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	緑ドーナツ		
○保護者評価実施期間	2025年1月20日		～ 2025年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2025年1月20日		～ 2025年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月26日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	マンツーマンでの療育。	運筆・ハサミ・ノリの使い方などマンツーマンで対応している。 お子さま一人一人に時間をかけて療育に取り組んでいる。	お子さまのペースを考えながら、お子様が楽しんで過ごせる環境づくり。
2	保護者様からの要望・ご希望に対して迅速な対応ができる。	保護者様と話し合いながら、できる限りご要望・ご希望に添えるよう時間・送迎等調整している。	保護者様と信頼関係を築きべく、雑談・相談・面談し、保護者様にとっても安心でくつろげる場所にしていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動スペースが狭く、思い切りお子様が体を動かせていないと感じる。	基準は満たしているが、一軒家ということもあり、活動スペースが限られてしまう。	室内の配置の見直しと整理整頓。 現在も取り組んでいるが、屋外活動・児童館や他事業所での合同活動を取り入れマンネリ化させない。
2	イベント行事が偏りがち。	お子さまの利用時間や送迎時間等で内容が縛られてしまう。	保護者様と相談しながら、時間の調整を図り多くのイベント活動に参加していただく。
3	日々の活動・支援・療育の内容が伝わっていない。	送迎時に伝えきれていないときがある。 送迎先によって、保護者様にしっかり伝えきれていない。	電話・line・面談のほかに、日々の様子を発信できるようブログを更新する予定。

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名	縁ドーナツ		公表日		2025年3月30日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	1	人数や活動によっては、活動を分けて取り組んでいます。	利用人数によっては手狭。死角がしやすい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	R7,2,1職員数9名(育休職員1名)職員配置は基準を満たしています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	2		車いす利用のお子さまに対してはバリアフリーではない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1	お子さまの動きを考慮しながら、お部屋が広く使えるよう整理整頓に努めています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	1Fを活動室・2Fはお昼寝部屋/静養部屋と分けて利用しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	0	毎月、事業所・職員自身の目標を設定し月末に振り返りを行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	保護者様からの意向や相談など、ミーティング時情報共有し支援につなげています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	2		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	0		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	毎月の会社内研修・県/市町村で行われる外部研修に参加し、事業所内で内部研修を行い共有しています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	職員全員で支援プログラムを作成しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	ミーティング時、お子様の状況・最近の状況・変化や・成長・課題について共有し支援にあたっています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1	活動の全体的な枠組みを作り、それをもとに活動内容を考えています。	日案担当制なので、一人で考えているような気がしている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	職員が持ち回りで活動内容を作成。活動内容が重ならないよう、話し合いながら作成しています。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	毎朝のミーティングで確認。送迎等でいないときは、送迎後日案立案者から説明をし洩れないようにしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	送迎もあり支援後は打ち合わせをしていますがlineや、次ぐ日のミーティングで情報の共有に努めています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	利用日は必ず記録を残しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	ご希望時お子さまの登園先に訪問し、情報の共有、療育・保育の意見交換をしています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0		
	28	(28~30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。	0	0		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	0	0		
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	9	0		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	9	0	地域の施設や、児童館、公園に出かけ、社会のルール・遊びのルールを学ぶ機会を作っています。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	4	ご家族様が参加できる研修等のお知らせがあるときは、お手紙を配布させていただいています。5		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	契約時ご説明させていただいています。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0			
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0			
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	8	保護者様の意向を確認し検討していきます。 9	・保護者様同士のつながりを求めている声が聞かれる。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	ご希望時・必要時ご対応させていただきます。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	0	毎月のドーナツだよりの発行・イベント時のお知らせの配布・活動写真の送信等で内容をお知らせしています。	来年度はブログの更新に力を入れていきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	0	手狭なためご招待することが難しいですが、ご近所さんから、ご自宅に生っている果物をいただいたり、絵本を寄付していただいたり、お子様に声をかけてくださるなど、良好な関係を築けています。	
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	定期的に取り組んでいます。
46		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	消防署立ち合いの元、年2回の避難訓練を行っています。また毎月テーマを決めて防災訓練を行っています。	
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	0	契約時、詳しく情報共有しています。	
48		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	保護者様から話を聞き、ご対応させていただきます。	
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0		
50		子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0		
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0		
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	年2回職員間で研修を行っています。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	0	契約時説明をさせていただきます。		